

ふるさと「やひこ」をさらに躍進!!

弥彦村に帰って10年 渡辺富之氏(72歳)

大学出てから定年まで弥彦離れ

故郷への恩返しに決断

温めてきた6項目掲げて

四月の弥彦村議会議員選挙に、弥彦村弥彦、渡辺富之氏(72)が立候補する。総合機械メーカーなどに勤務し、弥彦村に帰って十年。小林豊彦村長の後援会の全面的な支援も決定し、渡辺氏は「私の思いを実現するために議会に出させてくださいと強く訴えたい」と意気込んでいる。



弥彦村村議選に立候補を表明した渡辺富之氏

渡辺氏は昭和二十二年二月十七日、弥彦村弥彦で、二人きょうだいの長男に生まれた。父親は弥彦神社の技手として一ノ鳥居の営繕などに携わり、母親は弥彦公園入りの浦和市(現さいたま市)、社・佐渡市、北越銀行

に勤務し、六十三歳で定年退職。退職後は改めて勉強をしようとして、新潟テクノスクールで第二種電気工事士の資格を取得。それが縁で三条テクノスクールに再就職し、昨年三月まで五年間、勤務した。これまで村長選、村議選などにかかわることはなかったが、前村長時代から村議会はたびたび傍聴してきた。今回、故郷弥彦村への恩返し、元氣な弥彦村の未来を築くために、三月初めに立候補を決断した。

渡辺氏は「勤めていたときはオフィシャルなところで政治的信条を言ひ出せなかったが、昨年三月に終わってからはフリーハンド。私としては何もなければ立たない。最後のチャンスとして、もはや言葉は交わす機会はない。出馬を決断したあと、地元の村議を通じて連絡し、小林村長と面談。小林村長の後援会でも全面的に応援することを決定し、リーフレット、名刺も作成した。新潟鉄工所、サンアロに村外で暮らし、弥彦村に戻ったのは十年前。その後も村外に通勤していた。趣味は里山散策、音楽鑑賞、地理・地学調査、ゴルフ。村長とは顔立ちが似ている。村長と勘違いした村民に「さつされたこともあるほど。新潟鉄工所時代にはISO九〇〇一、ISO一四〇〇一を修了し、北

政策では①財政力の強化②観光と農業の活性化と融合③特産物の開発、育成、販売の促進④楽しい街歩き⑤環境整備⑥教育環境のさらなる整備⑦道路の除雪力強化と消費道路の拡張の六項目を掲げる。いずれも自身の経験の中で温めてきたもので、渡辺氏は「スローガンではなく、何十年間の集大成。村について言えば、これに集約される」と話す。

息子二人は村外に就職している。現在夫婦二人暮らし。趣味は里山散策、音楽鑑賞、地理・地学調査、ゴルフ。村長とは顔立ちが似ている。村長と勘違いした村民に「さつされたこともあるほど。新潟鉄工所時代にはISO九〇〇一、ISO一四〇〇一を修了し、北越銀行時代には金融法務三級、証券外務員の資格を取得した。村議選は四月十六日に告示、二十一日に投票、即日開票される。現職十人のうち、引退する議員もいると見られるが、まだ流動的。新人では渡辺氏を含め三人が出馬を表明している。

平成31年4月弥彦村議会議員選挙
立候補予定者 渡辺富之
(とみゆき)

スローガン
「新しい力！」
「ふるさと
” やひこ ”
をさらに躍進！」